



# 前進

第1号

4月15日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

昨年度に引き続き歴史と伝統ある佐敷小学校の校長職を拝命することとなりました濱田良彦です。三岳精神を教育理念とする佐敷小の学校経営を担うことのやりがいとともに、「子どもの命を預かり、守り、育てる」役目をもつ学校の校長としての責任の重さも毎日ひしひしと感じています。しっかり地に足をつけ、どっしり腰を据え、じっくり冷静に頭で考えながら、佐敷小の子どもたちがたくましく成長していけるよう自覚と覚悟をもって経営に当たる所存です。

昨年度はプレハブ校舎と本校舎に分かれての学校生活からスタートし、プールの改修、本校舎の改修等が進み、2学期から全員が同じ校舎で生活できることとなりました。被災からの復旧・復興を進めるうえで、保護者の皆様には様々な面で大変お世話になりました。今年度も保護者・地域の皆様と密な連携を図りながら教育活動を展開しようと思います。特に今年度から学校運営協議会（コミュニティ・スクール）をスタートさせ、保護者・地域の方々のご意見を教育活動により反映させるように取り組んでいきます。

その他、今年度の佐敷小学校の重要なミッション(使命)を次のように考えています。

## (1) 教育環境の継続した復興

令和2年7月4日の豪雨で、佐敷小学校は大きな被害を受けました。それは施設等に止まらず、子供たちの心や個々の学習環境にも影響を与えています。教育環境の復興とは、施設面の改修に加え、安心して学校生活を送れる心の醸成、学校における学びの充実も意味しています。子どもたち一人一人の心の安定に向け、職員総体となって、すべての子どもたちに関わっていきたいと思います。なお、被災等に伴い、家庭での学習環境が整わない等のお悩みをお持ちのご家庭もあるかと思えます。そのような場合、担任をとおしていつでもご相談ください。

## (2) 転入した子供たちとの心の交流

新入生を除き、吉尾小学校から2名の子供たち、そして他校から3名の子供たちが転入し、今年度の佐敷小は241名でのスタートとなります。新たに佐敷小学校の仲間となった子供たちが安心して生活できるように努めていきたいと思います。職員には、「吉尾小との統合を機に、すべての子どもたちの心のつながりを大切にしてほしい」と話をしています。



## (3) 創立150周年記念式典の開催

佐敷小学校は、明治5年8月に葦北水俣を含めて最初の公的教育機関として設立されました。今年度は創立150周年となります。この記念すべき年に在学してい

る子どもたちには、佐敷小学校の伝統を知るとともに、本校の一員としての誇りを感じる機会としたいと考えています。

なお、150周年記念式典は11月19日(土)に開催を予定しています。式典の詳細は、決まり次第、連絡いたします。



#### (4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の継続

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の流行については予断を許しません。学校でも感染防止に向けて最善を尽くしていきます。子どもたちにとっては不自由な生活が続きますし、学校行事の簡素化や中止などがあるかもしれません。教育活動の充実とのバランスを考えながら判断していきます。

以上4つの重要なミッションについて説明しましたが、今後も『地域に立つ』佐敷小学校をみんなで創り、一歩ずつ前へ進めていきたいと考えています。そこで、今年度の学校通信のタイトルは「前進」としました。学校の状況や校長の思い等を随時発信していきたいと思っております。どうかご一読いただければ幸いです。

**職員紹介** 令和4年度の「チーム佐小」(本校職員)です。



#### 最前列左から

前田(なかよし1組担任)  
福田(5年1組担任)  
萱田(6年1組担任)  
宇田津(教頭)  
濱田(校長)  
山下俊(6年2組担任)  
平野(1年1組担任)  
木下(なかよし2組担任)  
塩森(なかよし2組)

#### 2列目左から

石田(教員業務支援員)  
本井(学校栄養職員)  
山下裕(算数TT)  
加賀(4年1組担任)  
坂本(3年2組担任)  
平嶋(3年1組担任)  
設楽(2年1組担任)  
宇野木(2年2組担任)

#### 3列目左から

蓑田(校務員)  
小崎(養護教諭)  
シーブルック・  
アップルトン(ALT)  
本山(理科専科)  
黒木(算数TT)  
才荷(学習支援員)  
迫本(学習支援員)

#### 4列目左から

松永(主任事務長)  
松本(事務職員)  
吉永(教務・社会専科)  
藤原(学習支援員)

※この他、鳥居(TT)、佐敷中と兼務で新川(養護)もおります。